

番 号

□ 次の文章を読んで、あとの問いに答えなさい。

この部分は、
著作権の関係で
掲載できません。

問1 (a) (b) に入ることばを次の中からそれぞれ選んで、記号で答えなさい。

- (a) ア おどろいたように イ 困ったように ウ ふしぎそうに エ おこったように
(b) ア のど イ 目 ウ かた エ 手

a	
b	

問2 —線— 中山の母親は不安そうな表情をつかべた」とありますが、それはどうしてですか。最も適当なものを次の中から選んで、記号で答えなさい。

- ア ぼくと会えばけんかになるとわかっていたから。
イ ぼくの言っていることが聞き取れなかったから。
ウ テニスの試合が近づいても中山が休んでいるから。
エ 学校の友達からいじめられた中山を心配しているから。

--

三 次の文章を読んで、あとの問いに答えなさい。

この部分は、
著作権の関係で
掲載できません。

番	号

〔五〕 次の詩を読んで、あとの問いに答えなさい。(詩の中の1～19の数字は、行の番号を示しています。)

この部分は、
著作権の関係で
掲載できません。

問1 に入ることを詩の中からぬき出して書きなさい。

問2 ー線 「戸口に立っていつまでも 見送ってくれる人のよ

う」とありますが、作者がそう感じる理由として、最も適当なものを次の中から一つ選んで、記号で答えなさい。

ア たくさんのあやめが次々に咲いて戸口をはなやかに飾っているから。

イ 私が家から遠ざかってあやめの鮮やかな黄色がよく見えるから。

ウ あやめの黄色が灯の代わりに一人暮らしの私の家を明るくしてくれるから。

エ 道端に咲きついでゆれているあやめが手をふる人のように見えるから。

問3 ー線 「花の顔にあいさつをする」とありますが、花にむかってどのようなあいさつのかをかけたでしょうか。五字程度で考えて書きなさい。

問4 この詩は三連から成っています。二連目と三連目はどこで分けられますか。三連目の初めの行を番号で答えなさい。

	行目
--	----

問5 ー線 「出迎えの人に近づく思いで私は足を早めている」とありますが、この時の私の思いを説明した次の文中の(1) (2) (3) に入る適当なことを詩の中からぬき出して書きなさい。

道角を曲がると見えてくる(1) (1) は、一人暮らしで灯がともっているはずのない家に、一人帰る私の心の(2) (2) を忘れさせてくれる。(3) (3) が見えると、自分を(3) (3) ような気持ちがついて足り取りも早くなるのである。

1
2
3

〔六〕 次の文章を読んで、あとの問いに答えなさい。

私の通っている小学校では、一月にマラソン大会が開かれます。十位までにゴールすると、賞状がもらえるので、皆張り切っています。私は五年生の時に十一位で賞状をもらえず、とてもイヤしい思いをしました。小学校最後の大会なので、ぜひとも今年は十位以内に入りたいと思い、十一月から毎朝走り始めました。最近運動不足だからちょうどよい機械だと言って、父親もいっしょに走っています。朝六時半に起き、まずは冷たい水で洗顔をして気合いを入れます。起きるのがつらい日もあるけれど、朝のすがすがしい空気の中を走るのは気持ちがいいです。走り終わったときには、すっきりとした気分になります。「朝の空気はやっぱり気持ちがいいなあ」と父は言います。だんだんと寒さも厳しくなりましたが、それにも負けず、一日も休むことなく走り続けました。明日はいよいよマラソン大会当日です。全力をつくして、走ろうと思っています。

問1 本文中の漢字には、使い方のまちがっている所が二か所あります。その部分をぬき出して正しく直しなさい。

問2 ー線 「張」を漢字辞典で調べます。調べ方について説明した次の文中の(1) (1) には数字を、(2) (2) には部首名をひらがなで、(3) (3) (3) は「張」の読み方を書きなさい。

「張」の場合は、『総画引き』では(1) (1) 画で調べます。『部首引き』では(2) (2) で調べます。『音訓引き』では、音読み(3) (3) (3) か訓読み「はる」で調べます。

1
2
3

問3 ー線 「ぜひとも」がかかることを本文中から五字以内でぬき出して書きなさい。

問4 ー線 「洗顔」と同じ成り立ちの熟語を次の中から一つ選んで、記号で答えなさい。

ア 新年 イ 勝負 ウ 登山 エ 集合

--